

「スマート農業推進フォーラム 2025 in 東北」開催要領

1 開催目的

農林水産省では、担い手の減少等の農業を取り巻く環境の変化に対応して、農業の生産性の向上を図るため、令和6年10月に「農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用促進に関する法律」（以下「スマート農業技術活用促進法」という。）を施行し、生産現場におけるスマート技術の活用とこれに併せて行う農産物の新たな生産の方式の導入に係る計画（以下「生産方式革新実施計画」という。）、スマート農業技術等の開発及びその成果の普及に係る計画の認定制度を推進しております。

このような中、東北地方のスマート農業の一層の推進を図ることを目的として、「スマート農業技術活用促進法」の取組事例の紹介、「みどりの食料システム戦略」技術カタログに掲載された技術の取組状況等について、農業者をはじめとした多くの関係者へ広く情報発信するため、本フォーラムを開催します。

2 開催日時

令和7年12月16日（火）10:30～17:00（受付開始 10:00）

（企業による技術展示、認定申請相談窓口は10:30～17:00）

3 開催場所

仙台国際センター展示棟（仙台市青葉区青葉山無番地）

オンラインによる同時配信（Microsoft Teams）

4 主催

農林水産省、東北農政局、農研機構東北農業研究センター

5 協力

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会

6 内容

（1）第1部 スマート農業推進フォーラム（10:30～12:00）

①基調講演：東北地域におけるスマート農業の取組

農研機構東北農業研究センター 緩傾斜畑作研究領域
生産力増強グループ長 宮路 広武 氏

②情報提供：東北地域におけるスマート農業の状況

東北農政局生産部環境・技術課長 中谷 文樹

（展示技術の紹介・展示ブース見学・昼食）

（2）第2部 スマート農業推進フォーラム（13:30～16:30）

①スマート農業技術の取組事例紹介

(Ⅰ) 生産方式革新実施計画の認定事例：アグレストにおけるデータ駆動型農業
株式会社アグレスト 代表取締役 土井 信治 氏

(Ⅱ) スマート農業指導士育成プログラムについて

秋田県立大学 特任教授 西村 洋 氏

(Ⅲ) スマート農業は「大きく育てるために、小さく始める」

納屋ラボ 管理人 佐々木 剛 氏

(Ⅳ) 東北各県におけるスマート農業技術の開発・実装に向けた取組紹介

各県担当者

②みどり技術ネットワーク会議

(Ⅰ) 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ掲載技術等の導入事例紹介

ASEDA 代表 辰野 博幸 氏

(Ⅱ) パネルディスカッション

コーディネーター： 東北地域農林水産・食品ハイク研究会

農林水産省産学連携支援コーディネーター 齋藤 雅典 氏

パネリスト： 農研機構東北農業研究センター 緩傾斜畑作研究領域

生産力増強グループ長 宮路 広武 氏

秋田県立大学 特任教授 西村 洋 氏

株式会社アグレスト 代表取締役 土井 信治 氏

納屋ラボ 管理人 佐々木 剛 氏

ASEDA 代表 辰野 博幸 氏

東北農政局生産部環境・技術課長 中谷 文樹

(4) 企業による技術展示・相談会 (10:30～17:00)

(5) 生産方式革新実施計画の認定申請相談 (10:30～17:00)

7 参集範囲

スマート農業に関心のある方

(農業者、農業者団体、民間企業、地方公共団体、公設試験研究機関、報道機関 等)

8 定員

150名

9 参加申込方法

WEBによる事前登録制

10 連絡先

東北農政局生産部環境・技術課

[TEL:022-221-6193](tel:022-221-6193)